

再任用・会計年度任用職員部ニュース

No. 341
2021.6.23

東京都公立学校教職員組合（東京教組）

再任用・会計年度任用職員部

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2F

TEL. 03-5276-1311 FAX. 03-5276-1312

再任用・会計年度任用職員部 定期総会開催される



再任用・会計年度任用職員部会の定期総会が、6月13日、東京教組会議室で行われました。総会には、再任用教員、非常勤教員、時間講師、特別支援教室専門員、スクールサポートスタッフ等様々な職で子どもたちの教育に関わっている方が参加しました。

昨年度経過報告や決算報告が承認され、2021年度は、昨年度に引き続き部長は鈴木達哉さん、副部長は片桐育美さんに決定しました。

意見交流では、職場の様子や制度に関する意見がたくさん出されました。「タブレットを使った授業をするように言われるが年長者には使い方が難しい」「若い人はタブレットの使い方に慣れているが、授業の進め方自体はどうなのか」等現在大きな問題の GIGA スクール構想についての意見が出され、他にもオリ・パラ観戦の危険性と中止を求める行動の必要性、非常勤教員の公募任用に対する疑問、65歳での教員免許更新について等、様々な意見が出されました。

年金の支給開始年齢の引き上げにより、今年度末に退職される方からは65歳まで年金支給がありません。また、今国会において国家公務員・地方公務員の定年延長が可決され、2023年度から定年が2年に1歳ずつ65歳まで段階的に引き上げられます。働き方の制度が大きく変わる中、退職後の雇用を守り、高齢者が安心して働き続けられる職場を作る取り組みはますます重要になってきます。

総会の最後には、秋の交流会「絹の道を歩こう（八王子）」への参加が呼びかけられ、今後の部の活発な活動を期して総会は終了しました。

部長挨拶 ～新しい仕事に就いて～

部長 鈴木 達哉（板橋）

本年度も引き続き部長を務めさせていただきます。板橋区に勤務している鈴木です。定年退職後、昨年度まで再任用短時間（新人育成教員）を4年間行い、今年3月で終了。4月からは、区費の会計年度任用職員であるスクールサポートスタッフという新しい職種に就きました。教職員の働き方改革のお手伝いをするスタッフ職として勤務をしています。

仕事は、プリント印刷・配布、パウチ、ラベルや名札作り、掲示物貼り、テスト採点、荷物の片づけ、学級園の整備等々多岐にわたります。自分が現役時代の時は「面倒くさいなあ」と

思っていた仕事ですが、時間に余裕があるので、ゆとりをもってできます。授業への参加等、子どもたちの直接の指導はしませんが、教員ではない立場で子どもたちを見ていると、自分の現職時代の子どもへの接し方を振り返ったり反省したりする良い機会になります。時給での勤務（とっても安い！）なので、終業時刻の 3 時ぴったりに退勤し、コロナ禍で寄るところもないので、明るいうちに家に帰っています。

再任用・会計年度任用職員部定期大会 メッセージ

東京都公立学校教職員組合執行委員長 外山 理佳

再任用・会計年度任用職員部定期大会の開催、おめでとうございます。日頃から東京教組の運動へのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

学校における「働き方改革」が叫ばれ、様々なとりくみが動き出しました。出退勤の打刻や勤務時間外の留守番電話、スクールサポートスタッフや部活指導員の配置などが少しずつ進み、定時退勤も推奨されています。35 人学級も始まりましたが、長時間労働の是正はまだまだ進んでいるとは言えません。GIGA スクールの準備など、多くの仕事量に対して、人手が足りていません。

国会では、長年の課題であった公務員の定年引上げが 6 月 4 日に決定しました。しかし、このような過酷な勤務実態の中では、手放しで喜ぶことはできません。また COVID-19 感染や熱中症の危険もある中、オリパラの「学校連携観戦」が予定通り実施されようとしています。私たちが人間らしく働くためにも、定数改善や給特法改正などを求め、本当の改革をすすめていかなければなりません。

安倍政権を継承する菅政権によって、生命、民主主義、人権がないがしろにされています。東京オリンピック・パラリンピックの開催を優先し、COVID-19 への対応や、苦しむ人々を助けるための施策は後手後手になりました。

重要土地調査規制法案や国民投票法、デジタル庁監視法案などの悪法を次々に成立させようとしています。立憲主義・平和主義・民主主義を破壊する憲法改悪を絶対に許してはなりません。「教え子を再び戦場に送るな！」のスローガンのもと、夏の都議会議員選挙では、東京教組の組織内候補あべ祐美子さんを、来夏の参議院議員選挙では、比例区 日政連候補予定者 古賀ちかげさんの必勝をめざしてとりくんでいきましょう。

平和憲法をまもり、すべての人々が支えあい、ともに生きる社会の実現をめざし、運動をすすめていきましょう。

総会参加者の声

孤立感を感じがちな日常から、仲間に会えた喜び

杉浦 茂 （世田谷）

東京教組再任用・会計年度任用職員部総会に参加させていただきありがとうございました。職場の中でも、非常勤教員は同じ立場の人間が少ないため、日頃から孤立感を感じがちです。

また、管理職を始め一般の職員にも非常勤教員の立場や職域が十分理解されていないため、過剰な仕事が押し付けられたり、期待されたりして、辛い思いをさせられることもままあります。そんな状況の中、東京教組再任用・会計年度任用職員の会合に参加させていただくと、やっと仲間にあえたような喜びを感じることができます。また、多くの方々との情報交換から、貴重なご意見や新しい情報を得ることもできます。今日もまた、温かい雰囲気にもまれて、明日からの仕事へのエネルギーをいただいて帰ることができ、幸せに思いました。

明日からも、これまでの自分の教職経験を生徒達や若い先生方に少しでも還元できるように頑張ります！ 今後ともよろしくをお願いします。



学校現場に戻り、学校の変わりように驚くばかり

植木 正治 (渋谷)

本日は総会に参加でき、本当にありがとうございました。

2008年3月に中途退職し、そこから11年間のブランクを経て、2019年4月に再び学校現場に戻り、この間の学校の変わりように驚くばかりでした。公募により特別支援教室専門員になり、今年で3年目になりました。専門員といっても専門的な職域でもなんでもなく事務職なので、子どもたちに接していながら「教える」わけではないので、やりがい、はりあいという点でどうかなという気持ちもしますが、どうにか楽しく勤めています。

本日は、総会に参加して、東京教組の活動を担い、僕が所属していた渋谷教組を助けていただいた懐かしい仲間とも再会でき、うれしく思いました。学校にいても教員としてではなく、しかも年齢も年齢なので、いまの動きに鈍感になっていることも多々ありますが、今日のように組合の場にいると、頭が冴えるというのか、気持ちがしゃんとするというのか、意識化ができて有意義な時間を過ごすことができました。

特別支援教室専門員は都の会計年度任用職員ですが、学校によって職務内容、業務内容が明確でなく、その学校のコーディネーターの存在、管理職によって、専門員の役割が違ってしまっているようです。また、区や市によって、特別支援教室の扱いにも違いがあつて、そのような意味からも専門員同士の連携、組合との結びつきが必要になってくると思います。

再任用・会計年度任用職員部に情報を集約させ、結束を強めていきたいと思えます。今後ともどうかよろしくお願い致します。

できることを進めていこうと

顧問 飛田 邦子 (江戸川)

緊急事態宣言が出されている中での総会でしたが、たくさんの部員の方々の参加で成功させることができよかったです。会計年度職員制度が導入されて、非常勤教員、講師、理科支援

員、専門員、SSS と職種も多様になり、さまざまな立場から日頃感じていることの交流ができたのもよかったです。待ったなしの「ギガスクール構想」が再任用・会計年度職員にも影響していること、コロナ感染症や熱中症対策の観点から、「オリパラ観戦」は子どもたちの命を守ることが危ぶまれること等の意見交換が心に残りました。できることを進めていこうと励まされた総会でした。ありがとうございました。

年々過酷さを増す現場の状況に

堀江 昌枝（品川）

今年の総会は東京教組の会議室で行われたせいか、例年になく多くの参加者に恵まれ、職場の様子をお聞きすることができました。

i Pad を駆使した授業を展開する若い教員に、日々ついていくのに四苦八苦しているのは、私だけでないと、少し安心しました。また、オリパラ引率の責任を負わされる教員の過酷さ、再任用や会計年度任用職員の不可解な採用法なども話題に上がり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。年々過酷さを増す現場の状況に心が痛みました。

タブレット、授業でどう使うか時間的な余裕がない。

藤崎 喜仁（江戸川）

会計年度任用職員の2年目になり、理科講師と理科支援員として週に4日勤務。3・4・6年の理科講師と5年は理科支援員で授業を担当。

どの学年も2時間と1時間枠の週3時間。理科は教室の授業で済ませる教科ではないので、2時間続きの教材の準備にそれなりの時間がかかる。

一学期は植物の観察授業が多く畑に種まきや苗の植え付け、支柱やネット張りとかメダカや昆虫の飼育など目が離せない。だから8時半に出勤して退勤は5時近くになる。

蚕も150匹ほど育てており先週から繭を作り始めた。

教材準備をしっかりとやると興味と関心が高まり、理科が楽しいと言う子ども達が増えてきたが、担任時代はそんな余裕はなかった。タブレットも支給されたが、授業でどう使うか時間的な余裕がとれない。

先輩が現場に入って奮闘されている姿に頭が下がる思い

前部長 林 健（東京平和運動センター）

正式名称が長いので、「再任用部」とさせていただく。再任用部の会合に参加するのは、昨年11月の「秋の交流会」以来である。また、会場も例年お借りしていた杉教組会館から、東京教組会議室となった。また、ポンコツ政府の「行き当たりばったりコロナ対策」で、緊急事態宣言下での総会となったこともあり、何人くらいの参加者になるのだろうと思っていたのだが、なんと10名を超える参加者となりちょっとびっくりであった。

参加者の近況報告をうかがって、あらためて現場はめちゃくちゃ大変だという認識を新たにしました。特に、「令和のインパール作戦」と呼ばれるオリンピック・パラリンピックの強硬開催によって、子どもたちが「観戦」を押し付けらようとしていることは、許しがたい。猛暑の中での移動・観戦となるにもかかわらず、暑さ対策は「遮光板」と「ペットボトルの水」のみとか。これを「令和の学徒動員」と呼ばずに何と言えるだろうか。ましてや、何か問題が起きても（例えば観戦後のクラスター発生や、引率教員の感染など）都教委は、「校長の責任」にして、逃げるつもりだろう。事務方はともかく、「教育委員」たちは何をしているのか。他県では、「観戦をキャンセルする」動きも出ているというのに。

あと、自分よりも先輩の方々が、学校現場に入って奮闘していることに、頭が下がる思いである。自分は今年で「教員免許」が切れるが、諸先輩は「永久免許」だ。ずっと「学校現場」にかかわり続けようという姿勢には「骨の髄まで教員」なのだと思う。役員をしていた時も、都教委の窓口担当に「免許更新制を放っておくと学校はとてつもない人手不足になるよ」と繰り返し話をしていたのだが。国の方では、やっと「免許更新制見直し」が議論はされているが、どうなるのだろう。

こちらは、都議選に向かってささやかながら品川でお手伝い中である。また、19日の国会前行動などには、可能な限り足を運んでいる。姿を見かけたら、ひと声かけていただければありがたい。

身動きの取れない ガチガチに固まったような現場

顧問 水谷 辰夫（八王子）

学校現場を離れて4年が過ぎてしまいました。東京教組での最終の役目であった再任用職員部にかかわり続け、今年度も広報担当でお手伝いをします。多摩地区八王子での教職経験が多く、にぎやかな区内や他地区の状況を八王子での場合と置き換えてお話をうかがっていました。

「教育現場を身動きの取れないよう、ガチガチに固めてしまった。」というのが、外側から見た現場の状況でしょう。これで本当に子どもたちが豊かに育っていくのでしょうか。

「タブレット端末重視への疑問」「オリンピック児童・生徒動員」。今回、教えていただいた教育への政策の愚かさをどうして行政が気づかないのか？きっと、お金のめぐりだけで「決定」となっているからでしょう。

この秋、八王子での交流会を企画しています。一日だけかもしれませんが、ゆったりとした時間を一緒に過ごせるよう計画したいと思います。

2021年度 再任用・会計年度任用職員部活動計画

- (1) 定例常任委員会（東京教組各支部代表世話人）
原則として毎月1回行う 水曜日（PM4：00～5：30）
ニュースの内容検討、各支部の情報交換、活動内容の検討等を行う。
（8月は必要に応じて、臨時会を開催する）
*より多くの支部の参加を求め、各支部の協力を要請する。
- (2) 「再任用・会計年度任用職員部ニュース」の発行…毎月1回
内容…再任用・会計年度任用職員として必要な情報、手続きの方法、各種情報、各地区の活動報告、投稿等
定例常任委員会で内容検討後、印刷、帳合、仕分けをする。
→*ニュースは、東京教組ホームページでの閲覧・ダウンロードが可能。
*東京教組ホームページの「東京教組とは」 → 各専門部。
- (3) 「再任用・会計年度任用職員部HAND BOOK 2021年度版」の発行・・・8月
- (4) 再任用・会計年度任用職員部全員対象のアンケート調査・・・9月から10月
- (5) 部員からの相談・制度に関する問い合わせ等への対応
→必要に応じ、本部書記長・支部役員とも連携して対応。制度上の課題については、年度末の都教委要請項目に追加。
- (6) 都教委要請行動・・・3月
再任用・会計年度任用職員の勤務・待遇などを要求し、東京教組執行部と共に再任用・会計年度任用職員部として都教委に要請
- (7) 再任用・会計年度任用職員部総会、交流会
☆春・・・総会 6月13日(日) 場所 東京教組会議室
☆秋・・・交流会 11月7日(日) 場所 八王子(予定)
※秋の交流会は、OB・OGの連絡希望者へも参加を呼びかける。
- (8) 関連他組織との交流・友好を深める。
「東京都退職教職員協議会（都退教協）」「東京都退職女性教職員の会（退女教）」等と連絡を密に取り、交流・友好を深め、共通な課題には連携して取り組む。
- (9) その他、必要な活動（部員からの要望や他組織からの要請等による。）
- (10) 常任委員会の日程
6月23日(水) 7月14日(水) 8月25日(水) 9月15日(水)
10月13日(水) 11月17日(水) 12月8日(水) 1月 日(水)
2月 日(水) 3月 日(水)
※時間 午後4時～6時、会場 東京教組会議室。